東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2009年11月27日

イスラームは禁止する一方、合法的な代替案を提供します。

人間はすべて存在の中で最も尊い者として創造されました。人間の考える力や新しいものを作るという性格は、他の生きものと異なっている特徴です。人間は、真理と虚偽、正しさと間違い、良いことと悪いこと、役に立つ物と害を与えるものを区別する能力を持っています。しかし、いろいろな弱点も持っています。それは例えば、貪欲、うぬぼれ、けちすること、妬むこと、せっかちなどのようなよくない特徴です。人は、生まれた直後から長い間両親の保護や世話なくしては生活を出来ず、そして食べたり飲んだりすることなく生きていくも出来ません。さらに呼吸することなく生きていけることも出来ないのです。

"創造者が知らないであろうか?"[1] と聖なる命令で語られているように、人間を最も熟知している我々の主は、人の天性に一番相応しい宗教を教えられました。イスラームは、人間の天性を成熟させると共に弱点の面も考えに入れました。したがってクルアーンにおいて『（また）アッラーは、あなたがた（の負担）を軽くするよう望まれる。』[2] 『今アッラーはあなた（の負担）を軽減された。それはかれが、あなたがたに弱点のあることを知っていたからである。』[3]と述べられている。

このような特徴を持っているイスラームは、、命令に従い、禁止事項を避けることが出来る生活しやすい宗教です。禁じられているあることに対しては必ず何らかの選択技を与えられました。人間の理性を守るために禁じられたアルコールを含んでいる飲み物に対しては、酔わないすべての飲み物が許されました。飲める物の種類の数は、飲むことが許されない物の数より確実にたくさんあります。イスラームでは、豚肉を禁じ、他方で人間の本性に相応しい牛、駱駝、ウサギ、羊、アカシカ、山羊そして羽がある多数の鳥の肉を許しました。社会が幸福で健康な人々から成る立つために姦通を厳しく禁じ、他方で結婚を強く勧め、合法的な方法で子供を持つことを進めています。経済活動においては搾取することや人の権利を奪うことを防ぎために利息を禁じ、他方で真っ当な取引や商売を推奨しています。偶像崇拝に落ち入らないために彫像や魂を持つものの肖像を遠ざけ、一方で様々な彫刻やカリグラフィなどの芸術を推奨しています。

また人間に欠点もあることを認めているイスラームは、―キリスト教のカトリックとは違って―結婚した夫婦が幸福にならなかった場合、離婚することも認めています。聖職者という存在を許されないと同時に生涯結婚しないキリスト教の修道士の存在を否定し、人は誰でも人間であるゆえに結婚の権利を認めました。ムスリムは例えどれほど大きな罪を犯しても、キリスト教やユダヤ教のように宗門から破門することなく、イスラームでは、その罪を認め、悔い改め、そしてその罪を繰り返さないために悔悟の扉を最後まで開いています。『かれこそは、あなたがたのために、地上の凡てのものを創られた方である。』『言ってやるがいい。「アッラーがしもべたちに与えられた、かれからの（賜物）や、食料として（与えられた）清浄なものを、誰が禁じたのか。』[4] 上記にようにイスラームは、様々な他の宗教や思想と異なり、人間が肉や牛乳さらに油を消費することを許されています。

私達に正しい道を導いた主に数切れないほど感謝します。

---

[1]第67章14節
[2]第4章28節.
3第8章66節

4第7章32節